

# 平成29年度全国安全週間準備月間に伴う。「宮崎労働局長パトロール」

平成29年6月28日

## 建設情報新聞

平成29年(2017)7月1日(土)

(3)第3022号 第3種郵便物認可

### 産廃処理工場で安全パトロール

\*宮崎労働局等\*

### 塩川産業の取組み高く評価



平成29年度全国安全週間(第90回)の実施(7月1日~7日)に伴い宮崎労働局及び宮崎労働基準監督署は、去る6月28日に(有)塩川産業新名爪リサイクルセンター(宮崎市)に於いて労働安全パトロールを実施した。

当日は、宮崎労働局から5人、宮崎労働基準監督署から2名が塩川産業を訪れ、宮崎労働局元木賀子局長が「今回は、初めて産業廃棄物処理工場でのパトロールとなります。安全対策は企業側のハード面、ソフト面の実施も重要ですが働く人それぞれの安全意識もあわせて重要であります。労



・パトロールの様子

使が一体となつて安全活動に取り組んでいただきたい」と挨拶した。

続いて、塩川産業の塩川聖一代表取締役が会社概要及び安全衛生スロークリの表彰や週1回の安全パトロール実施などの安全対策・活動について説明した。

その後、同社の第3工場に移動し発泡スチロール破砕機械や廃タイヤ切断機械の作業状況や非常停止装置、点検簿確認等を行った。また、フォークリフト、トラック車両の作業状況・点検状況、熱中症予防対策などの確認を実施した。

パトロールを終えて、元木局長は「会社側の設備もきちんとされており働く方々の安全に対する意識も高く感じられました。今後とも労働災害は絶対起こさないという強い決意のもとに安全確認安全作業を徹底していただきたい」と講評した。

続いて、宮崎労働局健康安全課中村朝樹課長が「全般的に綺麗で作業員の服装、保護メガネやヘルメットの着用など非常に良く、また避難区域の

確保、車両の点検、熱中症予防対策もきちんと実施されており、社員の安全意識が高く良い事業場と感じました」と講評、宮崎労働基準監督署安全衛生課木野宮柔剛課長が「事業場のトップの安全

対策が掲示され明確に実施されています。表彰された安全衛生スロークリが各所に掲示されており安全活動の好事例で先進的な取組みであります」と同社の取組みを高く評価した。